

研修名 ペアレントパートナー養成講座 南部①

平成27年8月31日（月）9月1日（火）2日（水）

講 師 本 多 泉 氏

1 講演要旨

コモンセンスペアレンティング（だれにでもできるしつけの方法）

親の強制的なしつけから身体虐待にエスカレートしてしまわないよう誉め、教えるといった肯定的なしつけを親自信が身につけること。その結果親子関係のグットサイクルを実現させ、親が暴力以外の方法でしつけができるという自信をもてるように導くためのプログラム。

1) ロールプレイ（受講者が親と子どもに役割を分けて下記の8つのセッションによってロールプレイにより身につける）

①わかりやすいコミュニケーション（行動と観察）

・子どもの行動を抽象的な言葉を使わずに、具体的に表現する方法を身につける

②良い結果・悪い結果（賞・罰）

行動後の結果（親の対応）に注目し、子どもの良い行動を増やし、子どもの悪い行動を減らす方法を身に付ける。

③効果的な誉め方

効果的に誉める方法を身につける。

④予防的教育法

前もって、子どもに言い聞かせる方法を身につける。

⑤問題行動を正す教育法

子どもの問題行動に介入する方法を身につける

⑥自分自身をコントロールする教育法

こどもが感情的になって反抗したり、泣き叫んだり、すねたりといった親子の緊張が高まる場面での対処方法を身に付ける

⑦子どもの発達と親の期待

親の子どもへの期待を整理しつつ、親の過剰な期待（認知の歪み）の修正を意図。

⑧問題解決法

5ステップの意思決定の方法から、具体的な問題解決の方法を身につける

2 感想

学んだことをロールプレイで実践すると、実際の対応の仕方の難しさに戸惑い、テキストやカードを見ながら進めていきました。

今までの経験と、今回学んだセッションを基に、保護者に対して、柔軟に対応し、子どもの虐待防止につながるようアドバイスをしていきたいと思います。

(記録 なごみ保育園 森川めぐみ)

